こきりこ節

本調子

	尺	工	工	尺	上	上	四	上	上	尺	上	上	四	上	上	四	上	○
こきりこの	上	上	四	上	工	尺	工	五	五	五	工	五	工	尺	上	尺	工	上	上	四	上	○
たけはしちすんごぶじゃ																		
ながいは	乙	四	上	尺	上	四	乙	四	合	乙	四	上	工	尺	上	四	上	○	○	○
そのかなかいじゃ																		
マドのサンサはデデレコデン	尺	工	工	尺	上	上	四	上	上	尺	上	○	尺	工	工	尺	上	上	四	上	上	四	上	○
ハレのサンサもデデレコデン																		

一、こきりこの竹は　七寸五分（しちすんごぶ）じゃ
長いは袖（そで）の　かなかいじゃ
マドのサンサは　デデレコデン
ハレのサンサも　デデレコデン

二、向いの山を　かづことすれば
荷縄（になわ）が切れて　かづかれん
マドのサンサは　デデレコデン
ハレのサンサも　デデレコデン

三、向いの山に　鳴く鵯（ひよどり）は
鳴いては下がり　鳴いては上がり
朝草刈りの　眼をさます
朝草刈りの　眼をさます

四、踊りたか踊れ　泣く子をいくせ
ササラは窓の　もとにある
烏帽子（えぼし）狩衣（かりぎぬ）
ぬぎすてて
今は越路（こしじ）の　杣刀（そまがたな）

五、向いの山に　光るもん何じゃ
星か蛍か　黄金（こがね）の虫か
今来る嫁の　松明（たいまつ）なら
ば
差し上げて点（とも）しゃれ　優男
（やさおとこ）